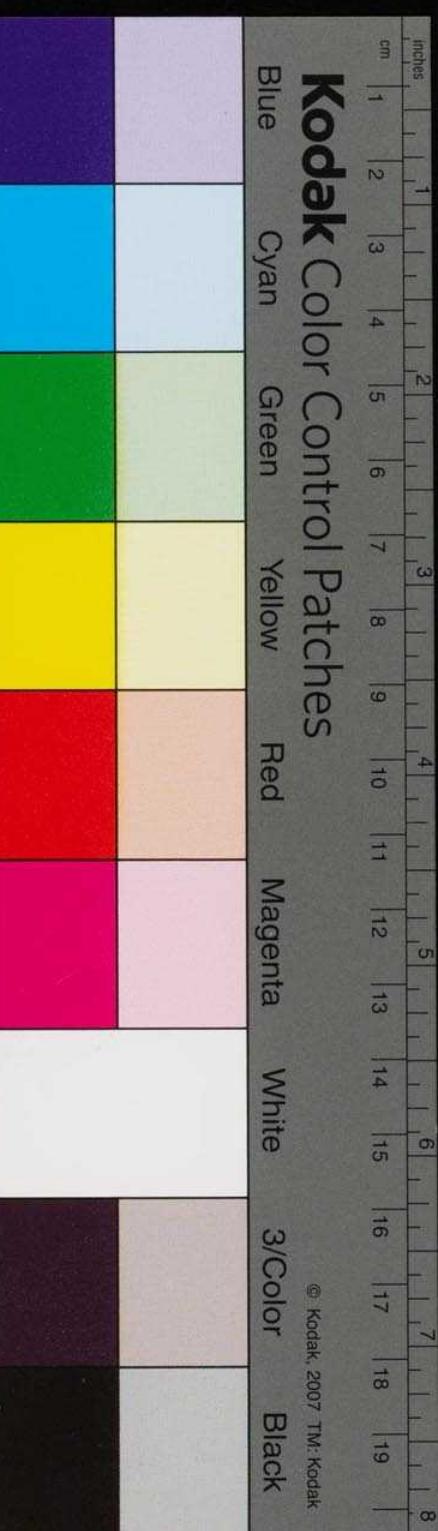


馬医醍醐 初之第二
麻布大学所藏



一 大午儀 上中下

一仲國也量

一損為差

一盈限差

一系性論

一灌頂秘教九

一四个差

一懷符上下

以十一下之

○大本儀卷上

此卷年仲圓安驥注卷第十一後者息密云
計午午儀之志八馬根元也去八生者八天地
以陰陽之運陽之氣之主暑也主暑則月則
故陽行之名而南也陰行之少也依之無八馬
以又小之者也年八半也依之陰勢地之天皆
則月大矣尤是也又云其陰天上于地皆
之則陰之月克清也是秋也依之有大陽
則陰之謂五臟淳之其體成之是馬也又秋
其陰天之上于地陽據之則無

強牛ノハ文中ノリ依ニシテ暑ノ平ノ也依ニ
脫方ノ為ル剝七傷八和ノし爲是也皆馬一升ノ事也
内ノ也ノ年ノ門有麻ノ馬ノもとと多
安彌ノ三彌ノ禁ノ陽ノ補陽ノ又陰ノ補
依ニ之自ノ云四季ノ牛儀ノ不飴治ノ之也又云今
革ノ畜ノ類鳥ノ魚ノ湯ノ唯人ノ者張ノ陰ノ之也
依ニ安彌ノ一升ノ東ノ千麻ノ載ノ者馬ノ之令
古末ヨリ不亂今可ノ牛東ノ千麻ノ之ノ依ニ
爲征兆ノ馬ノ人ノ盛ノ不ノ經ノ命ノ也人ノ之ノ禱者
七傷八邪ノ七瘡ノ系ノ脫者能ノ百藥治ノ活老

苦襄苦文豆可ノ也

○太平儀卷中

飯太ノ為九次方

第一諸ノ筋筋九分當重ノ為牙圓ノ則多則
冷ノ卒中風ノ下第ノ上敷ノ下敷斤夜
足筋ノ汗丸ノ為肝唐ノ一脾胃ノ四太用ノ付
並ノ髮毛ノ色西尾疎嚙尾草尾拔髮筋ノ乞求
肝ノ脾冒唐ノ也

第二諸丸ノ為又踏熟踏血丸食下血ノ旁血
乞求肝ノ唐ノ一肝ノ角山

五諸之主爲三口熱去主。重古色八脉樊脾。竇清去參火炭皮參脾大痒毛雲色脾曰瘧。多六諸。肾爲三腎卦。乾方陰三爻。坎水色八骨。痛于脾冒脾也。

五諸。頭角三金久痛。額角汗取以痛乞。八脾冒瘧也。

東人髓爲二僵色。於死乞也。

東九因爲二腫物。則陽乞也。

飯乞也。

東一瘦爲三上瘦中瘦下瘦。

東二堵血爲十個亂血。擣爲上突眼。爲大小亂爲瘡。

吐血鼻血下血。乾爲癲。筋爲乞也。

東三諸。經爲三上中下。

辰絃五也。

益諸。腎爲八唐刺。爲樊刺。爲動方刺。爲門。

心唐乞也。

益五刺。爲八唐刺。爲樊刺。爲動方刺。爲門。

換而換後刺。爲行易刺。爲和刺。爲

易風汗。二唐風汗。樊風汗。

飯火系。

第七藝十三

脚氣脇氣大小霍亂則嘔和
喫芳藥火藥煙藥破藥牢藥食藥
三服口喉藥動舌見後是也

飯風病

多諸風爲害重病大風陽風走子風氣

利風風亂風丸

第九中風八至中風利中風中半風

血中風半風膏中風

氣也

卒息病六經息長息亂息血息重息

陽息

上

○太平儀卷下

一地大病爲牛蒡白朮桔梗人參齒散
一村之桔梗芍藥色也治瘧多爲紅腫而
色全淡人筋淺大加時芍藥齒散半生人立
春脫味三丁治之驗毛爲散人大切散時人白朮
人參牛朮加桔梗之治之村之桔梗牛朮加
多加桔梗之治之去牛朮人參齒散芝之牛朮人
諸以爲人參齒散芝之牛朮加桔梗之體物
人牛朮人參牛朮人參加

一地大病熱在營血通加東庚多紫檀

莉芦編
牽牛子根白皮厚朴人參巴豆
牛膝黃柏水銀二十粒熟附黃芩地黃
麻黃大黃

一血病
芎丸
鴆酒
編研黃芩ナ加東ニ酒ハ
後シ張濶シテ時ハ芎丸
鴆酒ハ莉芦地黃ナ
加減ニ酒シテ諸虛極アリ之ハ麻黃白根
良香ニ酒シテ刺痛之ハ根或內摸或ハ熱ニ冒
肺大腸散亂ハ鴆酒ハ大黃黃芩已豆ナ
加薪ニ酒シテ風汗變風汗大切シテ時ハ黃
芩地黃ニ酒シテ

一大大病馬拉ニ芎丸
鴆酒ナ可通リ 桂
薑白芷シテ 銀明盤大黃牛膝枯萎
根是也大小霍亂則復和藥極ニ大切シテ 蔷
瓦鍋リ行ハ此系ナ土アリ 鉛治ニ
大木瓶上中下治

○仲國想事
諸病銅汗ニ次方
一結馬股細息弱藥ニ酒シテ小八盒
桂枝
時ハ酒シテ荳の汁リ可飲

一
結馬股大盛下緒シテ、
太包ミで羽毛ヒメを拂ハタフり急處ヒヤクに桃木牛膝モモキニホク
庵床アカウチを計シテと一羽但已至アリ入糸スル、
八手ハチの不食ハシム、不踏ハシム、牛膝モモキと脚ハタシのあハて握ハサフ
日脚ヒタツの土ヒトが入ハシムけシテと一羽
馬不熟眠於故ハシム、含ハシムれハシムて食ハシム、
以ハシムか一ヒと裏ハシム計シテと一羽
肉雞ハシム、
取ハシムり出ハシムし、
取ハシムり出ハシムし、
よろ湯ヨロヒ三寸蒜サンチハラス、
腰肉雞ハシム、
大皮ハシム、
宵室ハシム、
癡ハシムる、
大齶ハシム、
一切ハシム、
脇ハシム、
大包ミで羽毛ヒメを拂ハタフり急處ヒヤクに桃木牛膝モモキニホク
庵床アカウチを計シテと一羽但已至アリ入糸スル、
八手ハチの不食ハシム、不踏ハシム、牛膝モモキと脚ハタシのあハて握ハサフ
日脚ヒタツの土ヒトが入ハシムけシテと一羽
馬不熟眠於故ハシム、含ハシムれハシムて食ハシム、
以ハシムか一ヒと裏ハシム計シテと一羽
肉雞ハシム、
取ハシムり出ハシムし、
取ハシムり出ハシムし、
よろ湯ヨロヒ三寸蒜サンチハラス、
腰肉雞ハシム、
大皮ハシム、
宵室ハシム、
癡ハシムる、
大齶ハシム、
一切ハシム、
脇ハシム、
大包ミで羽毛ヒメを拂ハタフり急處ヒヤクに桃木牛膝モモキニホク
庵床アカウチを計シテと一羽但已至アリ入糸スル、
八手ハチの不食ハシム、不踏ハシム、牛膝モモキと脚ハタシのあハて握ハサフ

一 肝圓を二枚、芳毛馬の肝と舌をも
一 あめしとつけをして、食へ

一 牙圓熟メ色血まろの食とくとす、圓の太
一 とを二つのとくにけと極り、それ御用
一 付小しと可也

一 牙圓の皮と扁身なりしとだれは毒と云ふ。箱
一 則を刈谷ハ毒と云ふと有る難い。
一 因のあとも毒と云ふと云う。——鶴草と
一 と西へ毒と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ
一 肖飯ハ干姜、黃蘖、生薑、三けと云ふ

一 中風の御汁酒うり酒

一 桂皮、圓桂、土と葛根を大根とさりとす
一 ひじてそれを御汁にてうる

一 胃も食、生薑とおとこ根にてうる
一 一切眼病、安とおとこ根にてうる
一 組つくり葉にたれ、高粱とおとこ根にて
一 えきとれづらへ根白皮とおとこ根とおと
一 あ小豆て可行

一 风病ハ毒と云ふと云ふ湯を御汁にて

一切息馬ハ石菖蒲の外と古内テ柳立ての羽
根が、またもひと風とも東之日けと夏
さへアリハ石入川とかテ一つ度

○損病と卷

一 刺馬毛と竹子威と、油草と
牽牛子二兩 射干二分 麻草二兩 黃芩
縮砂一斗 右細辛ノ部と、芒草一束如咸云刺
馬ノ久病者縮砂と、麻子の中筋也六日より

内そ活心下筋也中筋ハ前けの地下筋
の筋也中筋下筋也も、
と色

一 熱氣と冬時病ハ治シハ冬ニ或ハ力の及
ハ刺シ奴う草と、之を演シテ之を
一筋の療法ハ、又第七完骨シモ後酒瓶と
仰きあらヒ云ハ酒と云ヒテラヒと
今もと時風の、奴風ヒハ此
かせて羽ナキ也又云風と病、入ヒリヒ吉
と云ヒタメニ一體小号一聲中勝

経或は息たりと小成耳の根汗出間の根

汗あ七ナニアニ熱一粒と一派東

伏毛肝又葛根ニシ株麻ニ右細末メ胸病
モニノノノノノノノノノノノノノノノノノノ

サクの根菖ノ粉とソニシセラウルのアリトモ
ノノノノノノノノノノノノノノノノノノノノ

一針目奥の吸て瘧成治一ノ丸と一派の
ノの瘧ノアリトモ也常と不干令
硫黃 胡椒 松膏 右ホ分二種ツ合也針目
付スリヒテ南人云先松酒にシモ燒毛後皮

茶と外レシムシ付キ旨也生口傳

一減月蝕の吸て脫白ノ成或ハ亦此と一派東

五倍子梅仁と少分合ひシシテ付生

一結馬トリヒテ其後解於と一派東 玄門と

桔梗ノシテ後ツハ化茶 本禹 編竹葉茶

千葉シ右向抹ノ半柳シウカシシテ經

トシシトシシシシシシシシシシシシシシシ

一大風ノ馬茶シヘツツシミウカシシテ經

ミアシシテ派東 大黃と酒シシテ付生一派
打坐シトナ時シシシシシシシシシシシシシ

下腰事

杏白芷二分紫蘿葉一分

訶利勁二分草發二分巴豆一粒右東一錢

黃芩馬分右加赤土白蜜酒洗之

不可多服

一肩之入事也肩之拔也者也
し時ぬけ肩成りず也馬ぬく
てえとへあくびりて全と後休て痛方
のあ股のうとす縫そゆひとあらひ
と小ゆれへ肩より下根よりそ
ととくと後う効矣マ右東

川芎赤小豆右木香合茶ノ湯之也

此二物

一瘀活ノ腐破マアリモテ色の腐活破
ハ瘀活トナリトシモ不治膀胱破て答否
ありくニ瘀ニリクセ茶云烟ノリニ大
豆粉又黃芩二分を草根二分右角茶ノ野光
トナリモ擗立湯之加丁水之也

一根拔出ノ時左小強く痛じて液茶す
餅米粉換棉子ホウ合茶ノモ仲也
の付之湯酒之もと洗て收茶一付

一 風被と申す。ことと云ひ成るや風熱則風と
一 いひが時、三つも、ううり腰とくと打ふ
一 息も、うりあへ。大やびらかと活まゆ
一 を卓根、兩圓の土、さちも右角井入
一 三三と水を、三三と泥をうつて、入
一 之を糸糸とす。よねとそい。一の下
一 古傳

○至限之卷

一 絡馬定莖、被、うりと、の尾と、ゆと股と
一 ねかて、いえも、そりの争金、うりと、ゆと
一 菓、うりと、黒、ゆりて、いえも、うりと、ゆと、至限と、
一 乗治生、うりと、ゆと、と、と、と、と、と、と、と、
一 ふ不宣、大切也

一 一寸白、皇、うりと、あ、股の尊、不宣、
一 ひと、うりと、と、至限と、号
一 内絆は股、うりと、股の尊、と、うりぬう
一 草と、うりと、と、須、うりと、うりと、大切也
一 一癡、根とて、ほ、身今人、母に、御、うり時、う

うそうちもお根のまつもと見せり
一猪のもの状月白キヤウモミモヒトリ上
シハ四足ニ有リトモシテノ右後
一切取物同のえんちいシテナリ人足大城ハ治
廟る西三ノ糸糸繩草ナリトモ月里モリタヒトモ
限とモ

一毛負ひて死ニシテ矢杖陸術、枯木食
不痛ハ死モ

一弓の肉腫四三腫ナリモ死ス

一脊近股袖くらうりて股と成リ時又是ハ股
の皮アラモ背広く絶股中ミシタマニヤリハ
エラノ日ナツアリ白キヤウモ御カガリハ死ス
一ひつと馬若良と之と角アリモ細ニ寒風モ並
一弓の甲シ小ナリト大切作業ニ及ハナリトモ
ナリシ事ナリトモハ治難事ナリ

一一切毒草食ムラ馬股也ナリモ死ナリ
一黄成ノモガツテ出ルハ大切也

一腰肉腫小風ナリモ死ニシテ血の乞シテアラクナス

のく血のえりひてかはるの片
赤経もやく源ス

一 息のあら見經吹き月 痘きハやれ
一 ほぢる二月三月或ハ四月レシ散て後善大
寒より長くテ熱テ聲テ出テり血付ニ
まことニキハ日小かとてやうやく散とす
たれ根小玉ハ丸ス

一 公れ不含根の東前筋と是と明附東
ト筋じせろん

一 則之の馬扇脚のり色うれ筋脚或脚

てれて之後ねつまと疎しハ安ちゆく糠革
疎も之後固られ共ノ皮筋リ散口筋

ハ丸

一 則冷馬筋アリて生キく、辰ノシテ
筋キハ丸

一 諸筋たゞ右ノシテ右出ル、通リ筋多
少六筋を破りと細筋一足、粗筋ト号ス
筋密、筋三月取出シモリ不々小穴

一 回筋、腰三寸ツツクミ裏激如筋

一 痘瘍おこるの日の方より口うつと
一 限小号入

一 吐血うち出るは舌根生肿アカシが一發ハタツ、或以ハシメル之而
一 血妄流の系ナシ付ハシメルといふ。金月肝キンイツ眼イマ合ハシメル

一 て瘡キリトモヒトリいた切

一 至限ハシメル拘挛クニヤウ、是何病馬マ成ハシメル也ハシメル、ハシメル畫
一 小角コノカク、或以ハシメル之而皮スル、或以ハシメル之而筋スル、或以ハシメル之而骨スル、
一 宜痛ハシメル何ハシメル若ハシメル、又及ハシメル波ハシメル、或包ハシメル之而
一 痘ハシメル、或以ハシメル之而瘡ハシメル、或以ハシメル之而股ハシメル、
一 三脚サンカク、或以ハシメル之而瘡ハシメル、或以ハシメル之而股ハシメル、

一 缠束縛ハシメルのハシメル、然古ハシメル根ハシメルもハシメル之而死入
一 脈糸ハシメル、或以ハシメル之而死入せハシメル、或限小号入ハシメル之而
一 生氣ハシメル、或以ハシメル之而前肢ハシメル、或以ハシメル之而後肢ハシメル、
一 久處ハシメル、或以ハシメル之而死入ハシメル、或以ハシメル之而死入ハシメル

○ 瘰性論

△ 四季系十一味

十四年

荳荅

十四年

垣通

三ツ

陳皮

羊春

皂莢

半夏

赤茯苓

半春

川芎

半秋冬

薏苡

半秋冬

良姜

十四年

桔青寅

半秋冬

杏香

半秋冬

△ 春夏三季 秋冬四季也

銀馬シキマ 东七味

辛半子

溫石ムツシ

熊膽クマダラ

巴豆バブ

杏仁エドヒン

柏白皮カツラホウヒ

活葉根カツバガタケ

春夏三季 秋冬四季也

△ 淋病リンボウ 东八味

蓮肉レンメイ

黃藥カツラギ

葛粉カモロコ

干姜カンザイ

塗ツ 奥オ

夕魚弦ヨシキヅ

葛絲子カモロコ

春夏三季 秋冬四季也

玄寸白茶コンスンホウチャ 八味

村立ムラタツ

半秋冬ハーフオトコ

良薑ヨウカウ

干漆カンヂク

胡麻コマツナ

半春夏ハーフスンカ

薰蕎クンソウ

細辛スイセン

△ 春夏三季 秋冬四季也

黃連カウレン

柴胡サイフ

半春夏ハーフスンカ

黃連カウレン

柴胡サイフ

細辛スイセン

芒ヒバ

半秋冬ハーフオトコ

茯苓ブラン

細辛スイセン

四季大三季也

△ 四足シキズ 八味

松綠カツラグリ

半春夏ハーフスンカ

芍藥カブトガサ

半四半ハーフオーハーフ

芍根カブトガル

半春夏ハーフスンカ

毒脫味ドクダツメイ

半四半ハーフオーハーフ

芍藥カブトガサ

半春夏ハーフスンカ

芳モガラ

半春夏ハーフスンカ

春麥三莖秋老五莖也

△年員人之六味

半四
半四
半四

吳太益

赤小豆

小豆花

川芎

半三
半三
半三

羊皮

頓通

芍藥

虎膽

葛粉

春麥三莖秋老六莖也

△氣氣人六味

半春夏

毒脫味

人參

葛苓

半春

紫胡

春麥二莖秋老四莖也

△氣氣人八味

半秋夏

松根

烏頭

溫石

十春夏

半古

吳太益

肉桂

半冬

半春夏

活葉根

春麥三莖秋老五莖也

△打川東九味

半四

土山外

半秋冬

木杏

半春夏

活葉根

半春夏

千草

小豆花

半秋冬

艾葉

半春夏

活葉根

半春夏

蓮肉

半四

石人川

十四

紫蕪葉

三ツ四

△惡之東八味

春麥四莖秋老三莖

半十四年

十春夏

半春夏

十四年

十五年

十ニ葉

半春夏

秋冬

胡株

馬血牛糞

半夏

枳椇

陳皮

慈草

春夏三季秋老四季也

△惡蟻之葉九味

十四年

十五年

半春夏

蓮肉

十四年

潤土

溫石

半四半

芒草根

牽牛子

三四年

大黃根

半春夏

蓮肉

十四年

潤土

春夏三季秋老四季也

錢桔

半夏

一十四而不不可合十分二水勿分二八一水

一尺二寸八分一寸半分三四八一尺二寸八分入
十六分三寸半半分二二分八一尺二寸八分入
可入三四十克茶少合三分八十分八分入有二分
小中阴可入左口也

○灌以秘散丸

一絃馬脊皮八两半二两少少厚之下并整
八纸虫子少少厚半两半半两半半两半半
一斤絃马脊皮加一两少少厚之下并整
下脚少少厚之下并并并并并并并并并
よ云少少厚之下并并并并并并并并并
よ云少少厚之下并并并并并并并并并

一 云股の時のが味とつままで云納れりて也

一 鴉當号

一 内経風鴉肺より後て毛鱗とおらあ
内経より毛とてくわ

一 痘ハ六腑ニあり大抵毛と肉と血

ミノ一治也

一 痘ハ六と實より來、よしもそと活めり
ノ四足の血と紙の血をあへて四足りゆく
時上矣と初りと也

一 糖蹄を燻たゞと守食蒸肝也之公爵

一大癰ハ死とやうけ因と云ふ一かと疾と
早え悪血ノ病也多々大癰の東方也
と肉と毛と来うと前治ス血と
ゆ肝也

一切をの病ハ當取らんとたゞりう一
吉口傳

○四ナ之卷

蟬瓦子極也

馬雲大名別号瓦馬

一 春 三月

自火去大毒也

一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

夏 三月 自去去別瓦

秋 三月 自風去之食茶

冬 三月 自水去抱不易

見様之事

一 息冷眼死同成ふ見物終古同物より
一 加原萬葉煙火立自火去トテ知
一 身及腰毒味も身自然の経見取下ハ自火
一 去ト可矣

一 天然ち肢肩下力少々能物れつ更にた
一 跳高ノ子乞乞乞乞乞乞乞乞

名は後風去とて矣

一小便利七力萬トムハ黒ドリソ入更破
而後捨ニ大便おけり風死不慕ノムとて身も
筋弱く後日它も身難ノムとて屎の色を
白食日あらだり毛よ細きりくらる
の毛ノモ不消又うづうづ也與此ノハ
糞ニヨミ音ノ細末消松也後水と云
四ヶ聲瓦抱相ノリ

一 売太志久残モ有自火まゆ火小毛後風

去りぬしと自火去風破りを

磐毛丸萬皮肉筋骨髓胞脂色隨着油土

壁次腔立津酒延味瘦酒精氣大小便利

名歸水

動轉歸風

一暖氣歸火

鶯丸自火去火氣之藥繫鶯丸

活水去火藥系方、六付

自此去ニテ義抱胡麻馬血草數小分食酒

取れ合ひ也

一活風去火風門ナキヌ是ハせうれあり少時

事也患大切がくハニ義西湯子霜ニニ煙
木分合夕食のミ加ゆり湯ノト付乞ハ
四大向より去火抱之名傳也

○懷符集卷上

諸病合葉

次第

一絹馬上中下火、可剝葉

新見火兩年勝ニシテ大黃

右而ホノ是火ハ抱の木蘆床ヒキ
しけレモ一肩二段入一束九肩レ十二肩レ

るよりて一、魚秋を以てめ前、一、鯛

一、辰桂チムケン
一、辰桂チムケン

湯加忌鰐ヨウカミシタテ 二分

葛カズラ あエマ あエマ 桂白皮ケイハヒ 五右禪末イガツシマツ 鴨
漬カモツク にうり酒スヒ と 捩ハサク 三ミ 汁スヒ 一、肩カツ 小
一、後入アフターニ 肩カツ、鯛ハタ 云木通ウムツウ とほく、要
主シメ けケ そソ の 刃ハタケ

一、雲取クモリ 緑リョク 薄マツラ

黃蘿クモリ 二分ニホン 二分ニホン

右魚末ヨウカミ 胡麻ゴマ 四分ヨモウ 五分ヨモウ 味噌ミソ 四分ヨモウ
油ヒ 土ト 嘴クモリ の あエ 酱ソ 桂ケイハ 一、鯛ハタ 五分ハタハナ 黄蘿クモリ 伊豆イズ ノ
シシ いイ 肩カツ、油ヒ 大オホ 一、色コロ 一

一、鷹葉タカヒ

皂莢正穗ソテイセイブ 二分ニホン 年勝ノハラ

一、來自皮ラマニシ 二十裏二 一、右魚末ヨウカミ 年勝ノハラ 捩ハサク 漬カモツク
けケ 桂ケイハ 一、葛カズラ 一、十粒ハナ 一、三ミ 二ニ 一イ 汁スヒ 一
肩カツ 一、後入アフターニ 鱗ハスム 一、鯛ハタ 一、刃ハタケ 一、主シメ
葛カズラ 加カツ 一、寸二三ハシモツ 一、小ヒモツ 一、目ミヅ 一、名前メイザン 一
一、主シメ 葛カズラ 一、百草二兩ヒヤシ 黃蘿クモリ 一分ヒナ

一、右魚末ヨウカミ 肩カツ 一、鯛ハタ 一、刀ハタケ

國土二兩ヒヤシ 葛カズラ 二分ヒナ

午時ムヒ 鹽ソ 一、右魚末ヨウカミ 嘴クモリ の あエ 一、主シメ
一、利ウタ 秋ハ 葛カズラ の けハ 嘴クモリ の あエ 一、食エダ

可飽又云脉、丁卯、う

一宵飯草、の

一葛二歩興塙、の

黃藥、二歩走る、の

右角馬メ正ノヘミ、萬、
て東シ喜け、一首、一済入、一交、七首下、御

御と、之くハ孙、の

一禰、病草、の

高粉、

茯苓肝、

蜜、

水、

末杏、一済、右角馬、宣の時、喜け、挽、ワ小
兒、立て、皆、一済、系、として、一日、一粒、あと
い、も、也、一、萬、雲、く、
息、あり、く、い、も、す、が
山、歌、ノ、水、擬、生、口、侍

一宿て、息都、た、駿馬、草、の

虎杖根、根、四、

石菖根、根、五、

右角馬、

ト、獨、合、去、り、そ、一、首、一、済、入、一、交、又、首、
七、首、し、ろ、ひ、て、て、角、去、り、く、よ、も、遠、く、モ、

一俄、姆、久、病、草、の

于、美、又、步、莉、芒、黑、櫻、三、步、至、川、黑、櫻、二、步、

右、角、馬、一、首、一、步、入、一、交、七、首、下、角、馬、
川、入、冷、一、毛、後、草、と、之、也、

一塙、病、草、の

百草、十、步、

葛、二、步、闊、大、四、ツ、興、塙、一、済、

毛と搗合せたりの水そのてや走一斜
毛も冷えれ難也

一 糸沸革之牛

潤土四百草十牘

葛ふ後右合革メキ勝夫者に計して一
段入一尺八首可判云白木ノ革

子計とし

一 深絹馬革

赤小豆ニ巻

右袖束ノ裏皮ハ那と計一秋毛ハ射千
トモ萬ノ子計と下羽

一 番合革

五信子二十枚

右

ホ分三絹束ノ圓の水と一尺二段入一尺八
十首

一 回し腔毛り革

かじりの根

藍糸 楠千 麋革 右ホ分合革束ノ楠千
のけ毛持りめ一付回り つゝくらん鑓

シテ毛後革と計合

○懷翁集卷下

一 諸物可銅革之事

威灵仙ニ重系一西

千麻ニラ苦辛

柏皮 二两 白朮 一两 章年子 二分半草三分
右知末ノ前けノ加減ノ万病の通うノ十朝
一法ノ曰東ノ百草 一两 川芎 三分
ち東一分赤小豆一分右知末ノて通じて
一肖ニ後入一发ノ前日ニ发つ七日て前
之云間れありしも

一血下丸

磁粉 一两 檀粉 七钱

柏子仁燒火後 右知末ノもろみを止めり
法ノ煎テ前けノ一肖ニ後入一发ノ前日ニ
下剣又云ヒラヒラヒラヒラヒラヒラヒラ

一計小ノてふし吉

一諸ノ瘡の曰東ノ

平通散 二分

檀粉 一钱

丁度 氣薰去惡ノ物

闇拂

火粒

右知末ノ前けノ一肖ニ後入一发ノ前日ニ
安七日創愈ノ一ノ大さゝと一二割ノリハ 胡
麻ノ末をこしらひニシテトキノ事ノ前けノ一ノ
火寒瘡治スリ 芫黃 桂油とわに
て後ノふきを後洗て 创拂 さも
の氣ノ付トシハ ふきを後て一ノ付
一切四足ガヨリ瘡治ノ 松脂 桂油

一 烧小魚ニシ後酒湯ノシ洗松葉
味ある魚シロ血ミヅありシテ
粉トコ丁子トコ合マツて丁子トコ氣チ

一 豚脛シラタケ

大根オホダケ二分ニム小豆粉アズキ

一 烧鱼シロ右合东ハコ口ヒガ邊ヘン入メル之シ脣

一 烧鱼シロ蒸スル後东ハコ付

一 倔ハサウエ目东ハコ右打ハシ目东ハコ

一 鳥賊甲トリヅカ右合ハコ燒シロ腰ヒダ右
あまアマ捨スルの玉タマのけハサウエ手ハハ持スルて鳥トリ
のえエとト持スル眼脉アマツ相マツタツ止スル血ミヅ若シマツ冷

一 亂目ハサウエ右合ハコ後东ハコ一指

一 踏拔ハサウエ

硫黄リョウ猪油シロ松膏ソウ

一 気ヒ合マツ合マツ女ヒメの髮シロの衣アマツ合マツ合マツ
馬ウマ毛モフ行ハシうらハラて歎ハラハラ押ハシ入スル之シと
之シ燒シロ魚シロ猪油シロ也シテ裏ハラ紀シテ皆ハラハラとト
けて可ハラハラ否ハラハラ

一 薙草ハサウエ

苦辛クセン

天南星テンナンショウ

棟ツバ

一 捺ハサウエ更衣カミナリ右合ハコ合マツ合マツ合マツ
下付シテ之シテ奴スル針ハリ之シテ之シテ苦辛クセン燒シロ後ハコ之シテ
後ハコ之シテ下付シテ

一大麻革

菴菴

苔茶

松脂

右少分合水のまゝと可附之多松の緑加
日松のととあるて御し右廉派へせ定と
矣と

一 爨の孫接と事

蘇の贊一後黃聚

一

己豆三粒 年後霜十後

右合未ノ

乞也、もノ以當下施

一 猪耳絞革

梅干肉

黃葉

赤

にのくぬ箱 小分合三丁 底本の家

相承も此處て二つ付

来鷹新右衛門財

五九九

胥吉日

仲銀

收銀三萬石四千

